

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	交差点改良事業		
事業担当	土木部 道路整備課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'02	②〈住みごち〉人にやさしい居住空間をつくる	
	'02	2 身近な生活環境を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
右折帯を設置することにより、交通渋滞の緩和が図られ、騒音などが低減され、市民が快適に暮らしています。		交通渋滞の解消や事故防止のため、車両がスムーズに交差点を通過できるよう右折帯を設置します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	交差点改良進捗率				単位	%
	説明・算定式	平成28年度までの指数累計に対する当該年度までの指数累計の率。測量10、用地・補償40、工事50					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	23	37	57	68		
	実績	23	34	57			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成24年度 の検証結果							
吉沢土屋線の座禅川橋の上部工事を行いました。							
平成24年度 の検証結果							
A：成果があがった							

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	交差点を改良し右折帯を設置することは、交通渋滞の解消や事故防止のため、必要性は高いと考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	右折帯を設置することにより、交通の利便性を図り、生活環境の有効性を高める必要があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input checked="" type="checkbox"/> その他	市民生活に欠かせない道路整備であり、安全で快適な生活環境の確保が必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	道路整備のコスト削減に取り組みます。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 警察等と協議を行い、改良が必要な交差点の優先順位を定め、整備を進める必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		工事、補償	工事	工事、仮設道路	工事、補償
財源内訳	国庫支出金	49,984	12,881	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	27,100	143,500	110,400	100,000
	その他 特財	62,302	4,630	8,808	0
	一般財源	23,447	17,322	7,146	14,500
事業費 (A)		162,833	178,333	126,354	114,500
執行率 (%)		70.83	65.75	57.61	
内訳	職員 (人)	1.30	1.75	1.85	1.75
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.05	0.05
人件費 (B)		10,737	14,182	14,998	14,080
フルコスト (A+B)		173,570	192,515	141,352	128,580

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針 交差点の右折帯設置は交通渋滞の解消につながるため、現状の規模で事業を継続します。
課長コメント 交差点を改良し右折帯を設置することは、渋滞解消等の効果が期待されるため、積極的に事業を進めます。